2－ブタノン　$CH_3COC_2H_5$　［K8900、特級］
フルオレセインナトリウム　$C_{20}H_{10}Na_2O_5$　［日本薬局方医薬品各条］
フルデオキシグルコース　$C_6H_{11}FO_5$　白色の粉末である。水に溶けやすく、アセトニトリル、エタノール（99.5）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
融点　150～185℃
確認試験
赤外吸収スペクトル　本品を乾燥し、日本薬局方の一般試験法の赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法を準用して試験を行い、本品のスペクトルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。
旋光度　$[\alpha]_D^{20}$＋60～＋65°　本品を乾燥し、その約100mgを精密に量り、アンモニア試液20μL及び水を加えて溶かし、正確に10mLとする。この液につき、層長100mmで測定する。
純度試験
類縁物質　本品50mgを水１mLに溶かし、試料溶液とする。この試料溶液0.5mLを正確に量り、水を加えて正確に25mLとし、標準溶液とする。これらの液につき、日本薬局方の一般試験法の薄層クロマトグラフィーを準用して試験を行う。試料溶液及び標準溶液２μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に、アセトニトリル／水混液（19：１）を展開溶媒として約10cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長254nm）を照射するとき、原点のスポット以外に検出されるスポットはない。また、これに10vol%硫酸・メタノール試液を均等に噴霧した後、150～250℃で加熱するとき、試料溶液から得た主スポット及び原点のスポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃くない。
乾燥減量　2.0%以下（0.5g、105℃、３時間）。
プロピルエーテル、イソ　$(CH_3)_2CHOCH(CH_3)_2$　［K9528、ジイソプロピルエーテル、特級］
ブロモクレゾールグリーン　$C_{21}H_{14}Br_4O_5S$　［K8840、特級］
ブロモクレゾールグリーン溶液　ブロモクレゾールグリーン10mgに希水酸化ナトリウム試液２mLを加えて溶かし、エタノール（95）10mL及び水を加えて20mLとする。
１－ヘキサノール　$CH_3(CH_2)_5OH$　無色澄明の液体である。屈折率1.4157～1.420。比重0.816～0.821。
ベータ線スペクトル測定用イットリウム90標準液　含量99.999%以上の酸化イットリウム（^{89}Y）を原料として、原子炉で中性子照射することにより生成したイットリウム90を溶解・希釈することにより、１mol／L硝酸溶液として製する。ストロンチウム90を含む他のベータ線放出核種をほとんど含有しない。検定日時における放射能は１mL当たり５MBqである。
ヘリウム　He　99.995vol%以上。
ポリジメチルシロキサン、ガスクロマトグラフィー用　ガスクロマトグラフィー用に製造したもの。
ポリリン酸　$H_{n+2}P_nO_{3n+1}$　無色～わずかに薄い黄色の液体である。含量P_2O_5として80.0%以上。
ポンソー３R　$C_{19}H_{16}N_2Na_2O_7S_2$　暗赤色の粉末で、水に溶けやすい。本品の水溶液は、暗赤色を呈する。含量85%以上。
ポンソー３R試液　ポンソー３R0.8g及びトリクロロ酢酸6.0gを水に溶かし、100mLとする。
マグネシア試液　塩化マグネシウム六水和物5.5g及び塩化アンモニウム７gを水65mLに溶かし、アンモニア試液35mLを加え、瓶に入れて密栓し、数日間放置してろ過する。液が澄明でないときは使用前にろ過する。
マグネシウム粉末　Mg　［K8876、特級］
マラカイトグリーン試液　マラカイトグリーンシュウ酸塩0.2gを水に溶かし、100mLとする。
マラカイトグリーンシュウ酸塩　$C_{52}H_{54}N_4O_{12}$　［K8878、マラカイトグリーン（しゅう酸塩）、特級］
メタノール　CH_3OH　［K8891、特級］
メチルレッド　$C_{15}H_{15}N_3O_2$　［K8896、特級］
メチルレッド試液　メチルレッド0.1gをエタノール（95）100mLに溶かし、必要ならばろ過する。
ヨウ化ナトリウム　NaI　［K8918：1994、よう化ナトリウム、特級］
２－ヨウ化ヒプル酸　$C_9H_8INO_3$　無色～白色の結晶である。融点171～174℃。
ヨウ化メチルノルコレステノール　$C_{27}H_{45}IO$　白色のガラス状粉末で味及びにおいはなく、エタノール（95）、アセトン、ジエチルエーテル、ｎ－ヘキサンに溶けやすく、水にほとんど溶けない。
ヨウ素　I　［K8920、よう素、特級］
ヨウ素酸ナトリウム　$NaIO_3$　［K8923：1992、よう素酸ナトリウム、特級］
15－（４－ヨードフェニル）－３（R，S）－メチルペンタデカン酸標準液　精製した15－（４－ヨードフェニル）－３（R，S）－メチルペンタデカン酸１gを正確に量り、エタノール（95）を加えて溶かし、正確に100mLとする。
ライセート試液　ライセート試薬をエンドトキシン試験用水又は適当な緩衝液を用いて、穏やかにかき混ぜて溶かす。
ライセート試薬　本品はカブトガニ（*Limulus polyphemus*又は*Tachypleus tridentatus*）の血球抽出成分から調製された凍結乾燥品である。本試薬にはβ－グルカンに反応するG因子を除去、又はG因子系の反応を抑制したものもある。
硫化水素　H_2S　無色の有毒ガスで空気より重く、水に溶ける。硫化鉄(Ⅱ)に希硫酸又は希塩酸を作用させて製する。希酸を作用させるとき、硫化水素を発生するものであれば、硫化鉄(Ⅱ)以外の硫化物を代用してもよい。
硫化鉄(Ⅱ)　FeS　［K8948、硫化水素発生用］
硫化ナトリウム九水和物　$Na_2S・9H_2O$　［K8949、特級］
硫化ナトリウム試液　硫化ナトリウム九水和物５gを水10mL及びグリセリン30mLの混液に溶かす。または、水酸化ナトリウム５gを水30mL及びグリセリン90mLの混液に溶かし、その半容量に冷時硫化水素を飽和し、それに残りの半容量を混和する。遮光した瓶にほとんど全満して保存する。調製後３箇月以内に用いる。
硫化ナトリウム試液、亜鉛試験用　硫化ナトリウム九水和物50mgを水に溶かし、100mLとする（0.05%）。
硫酸　H_2SO_4　［K8951、特級］
硫酸、0.25mol／L　硫酸15mLを水1000mL中にかき混ぜながら徐々に加え、放冷し、次の標定を行う。
標定　炭酸ナトリウム（標準試薬）を500～650℃で40～50分間加熱した後、デシケーター（シリカゲル）中で放冷し、その約0.4gを精密に量り、水50mLに溶かし、調製した硫酸で滴定し、ファクターを計算する（指示薬法：メチルレッド試液３滴又は電位差滴定法）。ただし、指示薬法の滴定の終点は液を注意して煮沸し、緩く栓をして冷却するとき、持続するだいだい色～だいだい赤色を呈するときとする。電位差滴定法は、被滴定液を激しくかき混ぜながら行い、煮沸しない。
0.25mol／L硫酸１mL＝26.50mgNa_2CO_3
硫酸、希　硫酸5.7mLを水10mLに注意しながら加え、冷後、水を加えて100mLとする（10%）。
硫酸カリウムアルミニウム十二水和物　$AlK(SO_4)_2・12H_2O$　［K8255、硫酸カリウムアルミニウム・12水、特級］
硫酸銅（Ⅱ）五水和物　$CuSO_4・5H_2O$　［K8983、特級］
硫酸ナトリウム、無水　Na_2SO_4　［K8987、硫酸ナトリウム、特級］
硫酸・メタノール試液、10vol%　硫酸２mLにメタノールを加え、正確に20mLとする。
硫酸３－ヨードベンジルグアニジン　$(C_8H_{10}IN_3)_2・H_2SO_4$　白色の、結晶又は結晶性の粉末である。水に溶けにくい。含量98.5%以上。融点164～168℃。